

コロナとお酒

やはり、ワクチンのおかげだろうか。今は、新型コロナワクチンは下火だ。でも、ウイルスは、したたかである。いつ、また我々に襲いかかってくるか分からない。

74歳のーさん。高血圧で通院中の患者さんだ。「センセ。3回目のワクチンはまだ打てないかね?」と、ワッシー顔を見るたびに尋ねる。「2回目接種から8ヶ月もあけなければならぬ理由は?」「3ヶ月で抗体は減るといふのに」と不満が募る。

とこのーさん、たまたまコロナワクチン接種後の抗体価を調べてみた。すると、意外と抗体価が低いことが分かったのだ。「抗体が少ないということは、感染して重症化もしやすいことになる」と、パニックである。

そつだ。コロナの抗体といえば、実は、ワッシーの抗体価も低かったのである。そのワケとは、なんと、ワッシーもーさんもお酒飲みだということのようだ。千葉大の調査で、高齢者や過度の飲酒は、免疫機能を低下させる。つまり、抗体価を低くさせる因子になるらしいことが分かっている。

で、コロナワクチン接種後には、飲酒を控えることが勧められるのだ。が、ーさんなどは、「ワクチンの副反応なんか、アルコールでぶっ飛ばす」などと、ずいぶん鼻息が荒かったものである。

「3回目を打ったら、お酒はしばらく控えるよ」と言いながら、「でも、酒は百薬の長と言つから、少量なら」と末練たらしい。ま、酒飲みは誰も似たようなものだ。が、最近の論文に、コロナはどうか分からないが、少量の飲酒でも全死因死亡率を上昇させるというデータがあるそつだ。

もっとも、統計というのは、取り方によっては結果が違ってくることがある。確かなことが分かるまで、この話はしないことにしよう。ーさんからお酒を取り上げて、会つたびに愚痴を聞かされるのもツライものがある。

(石黒修三||いし黒ろくりニック・脳神経

外科専門医…11/22北國新聞掲載)